

1 令和5年度 研究テーマ

社会的・職業的自立に必要な資質・能力が身に付くキャリア教育の在り方
～ 教科学習におけるキャリア教育を通して ～

キャリア教育は、令和2年度から小学校で全面実施された学習指導要領（中学校は令和3年度から）に初めて、「児童（生徒）が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。（その中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと）」と示された。

つまり、すべての公立小中学校で、キャリア教育を実践することが求められることになったということである。また、第3次浜松市教育総合計画後期計画（令和2年度～令和6年度）では、キャリア教育を人づくりの核に据え、夢と希望を持って自分らしく人生を歩んでいくことができる子供を育て、自分や浜松の未来を創造できる子供を育成することを目指している。

このようにキャリア教育の必要性が謳われるようになった背景には、これから訪れるであろう変化の激しい、先行き不透明な厳しい時代を、子供たちが生き抜いていかなければならないことが挙げられる。予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながらどのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのか、という目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けることが、子供たちに求められるということである。

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことである（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」）。社会的・職業的自立を図る上で必要な能力とは、基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）のことである。この基礎的・汎用的能力を子供たちに育てていくためには、学校の教育活動全体を通して、意図的・計画的にキャリア教育を展開していく必要がある。

そこで、本研究部は、『浜松市キャリア教育ガイドブック』を踏まえた講師による講話や講義、研究授業、実践発表、情報交換等を通して、部員がキャリア教育に関する基礎知識を得たりその指導に関する具体的な手立て等について理解を深められるようにしていきたい。その上で、校内におけるキャリア教育の推進役として、特に「教科学習におけるキャリア教育」に重点を置いて実践を積み重ねていく。そうすることで、各校において子供の基礎的・汎用的能力を育てるための指導力の向上を図ることもねらいとしている。

浜松市のキャリア教育に関する実態把握調査結果から、「校長のリーダーシップの下、キャリア教育を推進している学校は、「確かな学力育成」と「地域との連携・協働の推進」において、高値を示している」という報告があった。本研究部の研究を基にした各校での実践が、社会的・職業的自立に必要な資質・能力が身に付いた子供、つまり夢と希望を持って、自分らしく人生を歩んでいくことができる子供の育成につながることを期待する。

2 研究の重点

ア 『浜松市キャリア教育ガイドブック』を踏まえた講師による講話や講義、研究授業、実践発表、情報交換、意見交換を通して、キャリア教育年間指導計画の作成・見直しの手立てや教科学習におけるキャリア教育の在り方等について研究する。

イ 校内のキャリア教育の推進役として取り組むべき事柄（内容）の洗い出しと、推進役として必要となる資質・能力について研究する。

ウ 市内小中学校のキャリア教育に関する取組状況を調査することで、課題を把握し、課題への対応に向けた手立てを研究する。

3 研究計画（案）

研修会の名称	期日	時間	主な内容	講師等	会場
主任者会	4月14日（金）	15:00 ～ 16:30	講話 事業計画 組織づくり等	顧問校長	相生小
第1回	5月31日（水）	15:00 ～ 16:30	『浜松市キャリア教育ガイドブック』を踏まえた ・講話 ・グループワーク	指導主事	浜松市 教育会館
第2回	8月4日（金）	9:00 ～ 16:30	<午前> 『浜松市キャリア教育ガイドブック』等を踏まえた ・実践発表 ・指導案検討 ・全体会 <午後> ・講義 ・実践紹介 ・全体会	実践発表校 相生小 細江中 藤田 晃之 筑波大学教授	浜松市総合 産業展示館
第3回	11月8日（水）	13:45 ～ 16:30	研究授業 教科におけるキャリア教育の授業	顧問校長	広沢小 （1～4部会） 庄内小中 （5～8部会）

(1) 第1回研修会

ア 講話

「教科におけるキャリア教育」の必要性（仮）

教育委員会指導課 指導主事

イ グループ協議

自校のキャリア教育の取組状況と課題

※ 資料を用意する必要はありません。

(2) 第2回研修会

ア 実践発表

キャリア教育実践発表

相生小、細江中

イ 指導案説明

第3回授業研修会指導案説明

ウ 講義

キャリア教育最新事情（仮）

藤田 晃之 筑波大学教授

エ グループワーク

実践紹介

(3) 第3回研修会（ブロックごと2会場で実施）

ア 授業研究

1～4部会：広沢小

5～8部会：庄内小中

イ グループワーク

授業について

ウ 全体会

指導・助言 助言者 未定

4 今後の研修計画

各校での「教科におけるキャリア教育」等の実践を促進し、その成果と課題について部員同士で研修するため、第2回研修において実践発表を継続していく。

<令和5年度以降 実践発表予定>

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10
実践発表1	3部会 小 (相生小)	4部会 小 (佐藤小)	1部会 中 (西部中)	2部会 小 (追分小)	3部会 小 (新津小)	4部会 中 (天竜中)
実践発表2	7部会 中 (細江中)	8部会 小 (二俣小)	5部会 小 (浜名小)	6部会 中 (神久呂中)	7部会 小 (三方原小)	8部会 小 (光明小)

※ ルール

- ① 1～4部会、5～8部会それぞれのブロックで、R5 を基準にして「小→小→中」の順序とする。
- ② 部会は、R5 を基準として、「1→4」「5→8」の順序とする。
- ③ 部会の中は、学校番号順とする。

5 組織

(1) 主任者名簿

※ 研修会当日に別紙にて配付します。

- 小学校の8部会については、主任者が、第2回研修会以外参加することができない学校が多く、また、7部会の学校数が他の部会よりとりわけ多いことから、7部会と8部会を合わせて、2つの班を結成する。(令和3年度～)
- 「7・8部会 1班」は、7部会の中学校と、「7・8部会 2班」は、8部会の中学校と同じグループとする。

(2) 部会運営委員

ア 主な役割

所属する部会の主任者に、研修会関係の役割等を事前に連絡したり、研修会当日、部会の主任者に役割を指示したりするなどの役割を担う。ただし、研修会当日参加することができない場合は、事前に同じ部会の主任者の中から代理の方をお願いしておく。

イ 1～4部会

(3)、(4)で示した小学校の一番上の学校から、1、2、3…の順に担当する。小学校が終わったら、中学校の1から順に担当する。任期は1年とする(下の例を参照)。

ウ 5～8部会

(3)、(4)で示した中学校の一番下の学校(例：7部会は7から6、5、4…の順)から順に担当する。任期は1年とする。中学校が終わったところで、小学校の一番下の学校(例：7・8部会 1班は、15、14、13…の順)から順に担当する。任期は1年とする(下の例を参照)。

(例：1部会の場合)

<小学校>

1部会		
NO.	学校名	氏名
1	西	
2	東	
3	県居	
4	竜禅寺	
5	曳馬	
6	白脇	
7	浅間	
8	上島	
9	鴨江	
10	船越	
11	双葉	
12	中部	

令和3年度 部会運営委員

令和4年度 部会運営委員

令和5年度 部会運営委員



令和14年度 部会運営委員

<中学校>

1部会		
NO.	学校名	氏名
1	西部	
2	南部	
3	中部	
4	八幡	
5	曳馬	
6	江西	

令和15年度 部会運営委員

令和16年度 部会運営委員



(例：小学校 7・8部会 1班の場合)

<小学校>

7・8部会 1班		
NO.	学校名	氏名
1	二俣	
2	上阿多古	
3	熊	
4	気田	
5	佐久間	
6	水窪	
7	尾奈	
8	三ヶ日西	
9	金指	
10	井伊谷	
11	伊目	
12	気賀	
13	初生	
14	都田	
15	三方原	

令和24年度 部会運営委員

↑

令和12年度 部会運営委員

令和11年度 部会運営委員

令和10年度 部会運営委員

<中学校>

7部会		
NO.	学校名	氏名
1	北星	
2	都田	
3	三方原	
4	細江	
5	引佐南部	
6	引佐北部	
7	三ヶ日	

↑

令和5年度 部会運営委員

令和4年度 部会運営委員

令和3年度 部会運営委員

※ 主任者会、第1回、第3回の研修会に参加することができない主任者（氏名に括弧がついている方）については、第2回以外の研修会には参加しないが、運営委員として仕事に携わることとする。

※ 部長もしくは副部長と、運営委員が重なった場合は、その学校をとばして次の学校が運営委員を担うこととする。

6 連絡・調査

各研修会における部会の役割や提出物等の連絡は、部長もしくは副部長からミライムにて連絡する。また、調査についても同様とする。

<お願い>

第2回研修会時に、自校の実践を紹介するグループワークを考えています。1学期末までに行った教科におけるキャリア教育実践について、後日ミライムで送付する書式に記載をお願いします。昨年度の実践でもかまいません。